

北上から平泉へ 国見山廃寺文化を 訪ねて

世界文化遺産・平泉に先立つこと2000年以上前、
平安の仏教文化が栄えた大聖地があった。
岩手県北上市に残る「国見山廃寺跡」。
いまなお新たな説明が待たれる地を訪ね歩き、
平泉へとつながる
歴史浪漫的源を探してみた。

花や草木が
芽生える春、新緑が
まぶしい夏、木々の葉が
鮮やかに彩る秋
四季折々の風情を
楽しみながら
散策。

周辺は見所
オススメスポットが
いっぱいあります。

みちのく三大桜名所
北上展勝地
展勝地は、弘前・角館と並ぶ
みちのく三大桜名所のひとつで
あり、桜の名所百選にも選ばれています。ソ
メイヨシノやベニヤマザクラなど約1万本の
桜が咲き誇り、毎年4月15日から5月5日まで
開かれる展勝地さくらまつりは多くの人に
ぎわいます。

山道を歩くのは
ちょっと大変だけど
自然に触れながら歴史
文化を感じる散策
最高です。

国見山廃寺跡(国指定史跡)

今から1000年以上も前の平安時代中頃に栄えた山岳寺院で、山中には、お堂
や塔の跡が残っています。伝承によれば、700を超える堂塔、36の僧坊からなる一
大寺院であったといえます。また「定額寺(じやうがくじ・国営の寺に準ずる地位の
私営の寺)」として歴史書にみえる「陸奥国の極楽寺」ではないかとも言われて
います。国見山廃寺は、平泉が繁栄を迎える200年以上前に、北上盆地の中心
的な寺院だったとみられます。

更に詳しい内容は、Webサイト「国指定史跡 国見山廃寺跡」を参照してく
ださい。ウォーキングマップもダウンロード可能です。



<http://kunimi.kitakami-kanko.jp/>



国見山廃寺年表

時代	世紀	暦年	日本の出来事	北上盆地の時代区分と国見山廃寺	
奈良時代	8世紀	741	聖武天皇が国分寺建立の詔を出す。	エミシの時代	
		752	東大寺の大仏が完成する。		
		788	最澄、比叡山延暦寺を創建する。		
平安時代	9世紀	国見山廃寺が興隆した期間(9世紀中ごろ～12世紀中ごろ)			胆沢城の時代 9世紀中頃、堂が建てられる。
		794	平安京に都を移す。		
		802	坂上田村麻呂が胆沢城(奥州市)を築く。		
		803	坂上田村麻呂が志波城(盛岡市)を築く。		
		816	空海、高野山金剛峰寺を建立する。		
		857	陸奥国の極楽寺が定額寺とされる。		
		862	黒石寺(奥州市)の薬師如来像が作られる。		
	10世紀	907	唐が滅亡する。	国見山廃寺 安倍氏の時代 10世紀中頃、塔が建てられる。 瓦を用いた堂が建てられる。 10世紀後半、阿弥陀堂、正面に 広場を持つ堂などが建てられる。	
		935	平将門の乱(～940)		
		939	藤原純友の乱(～941) (10世紀後半、胆沢城の機能が衰退する)		
		969	安和の変(摂関政治が確立する) (末法思想、浄土思想が広まる)		
11世紀	985	源信が『往生要集』を完成する。	隆盛期を迎える		
	1020	藤原道長、法成寺(京都市)を建立する。			
	1051	前九年の合戦(～1062)、安倍氏滅ぶ。			
	1052	(末法の時代に入る)			
	1053	藤原頼通、平等院鳳凰堂(宇治市)を 建立する。			
12世紀	1083	後三年の合戦(～1087)、清原氏滅ぶ。 (平泉藤原政権が誕生)	清原氏の時代 11世紀後半、七間堂(最大の建物) が建てられる。		
	1105	藤原清衡、平泉に最初院を建立する。			
	1126	中尊寺が完成する。	平泉藤原氏の時代 12世紀前半、山地部の建物が ほとんど無くなる。		
	1160	秀衡の妹、白水阿弥陀堂(いわき市)を 建立する。			
	1185	壇ノ浦の合戦。平氏滅ぶ。			
	1189	奥州合戦。平泉藤原氏滅ぶ。			
	1192	源頼朝、征夷大将軍になる。			
		鎌倉時代			



- 北上 IC から国見山極楽寺駐車場まで、車で約 20 分。
- 北上駅から国見山極楽寺駐車場まで、車で約 15 分。

✈ 飛行機 AIRPLANE

新千歳空港	JAL (約55分)	いわて 花巻空港	北上
名古屋小牧空港	FDA (約1時間20分)		
大阪伊丹空港	JAL (約1時間30分)		
福岡空港	JAL (約2時間10分)		

※いわて花巻空港～JR北上駅 岩手県交通路線バス花巻谷線 約50分
※いわて花巻空港～JR花巻駅 岩手県交通路線バス花巻駅空港線 約15分

🚗 自動車 MY CAR

川口JCT	332.4km (約3時間30分)	仙台宮城IC	132.3km (約1時間40分)	北上江釣子IC
盛岡IC	47.4km (約30分)			
秋田中央IC	116.6km (約1時間35分)			
平泉前沢IC	32.9km (約20分)			

🚆 鉄道 TRAIN

東京駅	東北新幹線	仙台駅	東北新幹線	北上駅
盛岡駅	東北新幹線	盛岡駅	東北新幹線	北上駅
秋田駅	秋田新幹線	盛岡駅	東北新幹線	北上駅
新青森駅	東北新幹線	盛岡駅	東北新幹線	北上駅
平泉駅	東北本線	花巻駅	東北本線	北上駅
盛岡駅	東北本線	花巻駅	東北本線	北上駅
花巻駅	東北本線	花巻駅	東北本線	北上駅
遠野駅	釜石線	花巻駅	東北本線	北上駅
ほととぎす駅	北上線	花巻駅	東北本線	北上駅

●お問い合わせ 北上観光協会 〒024-0061 岩手県北上市大通り1-3-1 おでんせプラザ ぐろーぶ 1F
<http://www.kitakami-kanko.jp> E-mail: odense@aw.wakwak.com
 TEL 0197-65-0300・FAX 0197-65-0393

きたかみ 魅力辞典

平成24年3月発行 北上市緊急雇用創出事業

おススメ 周辺観光スポット

みちのく民俗村

東北有数の屋外博物館。竪穴式住居から武家屋敷、商家、南部曲り家など、丘陵全体が歴史的建造物の展示場になっています。国指定史跡の「旧南部・伊達領境塚」も必見です。また、村内は四季折々の花が咲き誇ります。



- 住所 〒024-0043 北上市立花14-59
- TEL 0197-64-1756
- 開館時間 午前9時～午後5時
(入館は4時半まで)
- 入館料 大人500円、高校生240円、
小中学生170円
(20名以上 大人400円、高校生180円、
小中学生120円)
- 休館日 5、7、9、11月に月1回臨時休館、
12～3月は毎週月曜日
(祝日の場合火曜日休) 及び
12月28日～1月4日休館

立花毘沙門堂

国指定重要文化財の木造毘沙門天立像(もくぞうびしゃもんてんりゅうぞう)(1体)、木造二天王立像(もくぞうにてんのうりゅうぞう)(2体)をはじめとした数々の仏像等が納められ、国見山一帯に栄えた古代仏教文化の名残りを現代に伝えています。

- 見学にあたっては、事前に立花毘沙門堂 TEL:0197-64-7303 へお問合せください。

サトウハチロー記念館

童謡集「叱られ坊主」で文部大臣賞受賞。代表作として、「ちいさい秋みつけた」「うれしいひなまつり」「かわいいかくれんぼ」など童謡が有名です。



- 住所 〒024-0043 北上市立花13-67-3
- TEL 0197-65-5401
- 開館時間 午前10時～午後5時
(11月から3月までは～午後3時)
- 入館料 大人400円、小・中学生150円
- 休館日 月曜日、年末年始
(12月20日～2月10日)



6

8

7

10

を祀ったお社である**地主神社⑦**と、寺を開いた僧(開山)を祀った**開山堂⑧**の跡がある。ここが国見山廃寺の伽藍の中で最も奥まった、高い場所である。この一角こそ、国見山廃寺の奥の院と考えられるといふ。

この奥の院から先、山頂にかけては、もうお堂跡は無い。細い土橋のような尾根を進むと、山道は二気に険しさを増す。竜坂ともよばれる急坂だ。古の僧も、草鞋で、念仏を唱えながら、この竜坂を登っていったのであろうか。息も絶え絶えになるころ、頭上にもびえる奇岩・**胎内くぐり⑨**が現れる。自然の造形でできた石門だ。胎内くぐりと呼ばれるのは、この石門が、人間界と神仏の世界の境界をくぐる門であることが伝え残ったのであろうか。

この石門をくぐると、眼前には巨大な岩が現れる。**戸木の峰⑩**と呼ばれる大岩である。この大岩の上には、今は国見山展望台がある。この展望台⑩に立ち、風景を眺める。眼下には奥六郡と呼ばれた北上盆地をすべて見渡す事ができる。まさに国見の山である。ここから平泉まで約30km。国見山廃寺と中尊寺は高台という立地もよく似ている。清衡は、この国見山廃寺を思い描きつつ、中尊寺を建立したのだらう。



9

国見山廃寺から平泉へ



11

しばし平安の頃に想いを巡らせた後、足元に気をつけながら、多宝塔跡まで一気に道を下った。多宝塔跡も、塔跡と同じように、平地を見渡せる丘の頂にある。おそろしく、下から見れば、五重塔と多宝塔、2つの塔が谷を挟んで向かい合うように2つの丘の上に建っているように見えたのであろう。

県内を代表する総合博物館で、市立公園展勝地内にあり、北上川とその流域に生きてきた人々の歴史と、北上周辺の自然を学ぶことができます。館内には、国見山廃寺跡から出土した、国指定重要文化財の青銅龍頭や青銅錫杖頭などが展示されています。また、国見山・極楽寺跡の復元模型が常設展示されており、当時の堂塔などが復元され、その規模の大きさを知ることが出来ます。

青銅錫杖頭 (国指定重要文化財)

平安時代後期。高さ14・5cm。下の部分を失っているのは残念だが、造りが細部まで精巧で、極楽寺の文化が都的であったと考えられる。

青銅龍頭 (国指定重要文化財)

平安時代。4体が揃っているのは、全国でも極楽寺のみ。高さ約24.5cm。857年(天安元年)、国家寺院に準ずる定額寺に指定されたと目される極楽寺の伝世品。



- 住所 〒024-0043 北上市立花14-59
- TEL 0197-64-1756
- 開館時間 午前9時～午後5時
(入館は4時半まで)
- 入館料 大人500円、高校生240円、
小中学生170円
(20名以上 大人400円、高校生180円、小中学生120円)
- 休館日 5、7、9、11月に月1回臨時休館、12～3月は毎週月曜日
(祝日の場合火曜日休) 及び12月28日～1月4日休館

発掘調査で明らかにになった事実

北東北の交通の要所へ企業集積地として発展する北上市。藩政時代には南部藩と伊達藩の藩境にあたり、北上川舟運の中心となる河川港として繁栄したが、それよりはるか昔、平安時代中期の北東北最大規模を誇る山岳寺院跡があると知り、訪ねてみることにした。

北上駅から北上川の東岸、稲瀬町の「国見山廃寺跡」まで車で約15分。昭和38年からの発掘調査により、規模や時代背景が明らかになってきたが、それらの堂塔が造られた年代は、古いものになると、奥州藤原氏初代清衡が平泉に進出した時期より、200年以上前の9世紀中頃にさかのぼるといふ。

1時間ほどで主な堂塔跡を歩いて回れると聞き、早速南側の山、ホドヤマ(宝塔山・宝刀山)に入った。鬱蒼とした木々の間の道を上ると、下の平野を一望する頂に、塔跡の柱の土台石である礎石が並んでいた。中央にひと際大きな石があり、これが塔の心柱の土台石とのこと。大きさは4.5m四方、高さは27mほどの塔跡で、**五重塔①**が建っていたと推測される。

しばらく歩いて行くと、視界がすっきりした。10m四方の大きなお堂の跡がある。**阿弥陀堂②**であったと考えられている。大きな阿弥陀堂といえは、福島県いわき市の白水阿弥陀堂が思い浮かぶ。平安時代の有名な建物だ。しかし、それよりもお堂は、さらに150年ほど古いうえに大きい。中央には丈(六座像で2.4mほど)と思われる大きな阿弥陀如来像を置いた須彌壇跡の小高い土盛りも残っている。

そこを西へと進むと、前に広大な空間がある。ここからは国見山神社の旧参道を北へとたどる。大日如来を祀ったであろう**大日堂跡④**、そして、急峻な崖を崩して整地して建てられた国見山廃寺最大のお堂跡が現れた。七間堂とも呼ばれ、これが国見山廃寺の**本堂⑤**であった。発掘調査によると、このお堂の下から、5回にもわたりお堂が建て替えられた跡が見つかっており、およそ150年間にわたりここに本堂が造られつづけたことがわかっていく。そういえば比叡山延暦寺の本堂である根本中堂も同じ場所に本堂が造られ続けたと言われている。まさにこの場所こそが、国見山廃寺の根本中堂と

奥六郡を見渡し 藤原清衡を想う

ここからは国見山神社の旧参道を北へとたどる。大日如来を祀ったであろう**大日堂跡④**、そして、急峻な崖を崩して整地して建てられた国見山廃寺最大のお堂跡が現れた。七間堂とも呼ばれ、これが国見山廃寺の**本堂⑤**であった。発掘調査によると、このお堂の下から、5回にもわたりお堂が建て替えられた跡が見つかっており、およそ150年間にわたりここに本堂が造られつづけたことがわかっていく。そういえば比叡山延暦寺の本堂である根本中堂も同じ場所に本堂が造られ続けたと言われている。まさにこの場所こそが、国見山廃寺の根本中堂と



4

5



国見山廃寺跡堂塔マップ

この本堂の裏手の一段高い所に行くと、瓦葺であった4.5m四方の小さなお堂跡がある、お経を納めた**経蔵⑥**だ。国見山廃寺のお堂の屋根はほとんど板葺、または檜皮葺であったと考えられているが、このお堂だけは瓦葺であった。おそらく紙のお経を守るため、耐火性の高い瓦葺屋根にしたのだらうと考えられる。中尊寺にある経蔵も、かつては唯一の瓦葺であった事と併せて考えれば、一層国見山廃寺と中尊寺との関係性に関心が高まる。

さらに、経蔵跡から上に登ると、小高い丘のような一角がある。ここには、お寺の土地神様



国見山周辺はウォーキングコースになっており、典型的な里山の自然が多く残っています。岩場、林沼地、沢、原野と変化に富んでいます。また、季節によって異なる風情が楽しめます。(詳しくは、北上観光協会へ)

